

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

田舎の光・食・土の恵みを活かす「ものづくり産業」による雇用創出プラン

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県邑智郡邑南町

## 3 地域再生計画の区域

島根県邑智郡邑南町の全域

## 4 地域再生計画の目標

### (1)安全・高品質な農産物を活かす食関連産業の振興を通じた雇用創出

邑南町は、中国太郎の異名をもつ江の川の源流域に位置し、江の川の清流と冷涼な気候を活かした農業生産活動が盛んである。これまで、町を挙げて有機・低農薬などの「食の安全性」にこだわった生産活動に取り組んできた結果、町内には米、石見高原野菜、ハーブ、石見和牛、石見ポーク、国内でも希な完全放牧による乳牛飼育など、大自然の恵みを活かした良質な農産物が豊富に存在する。

今後は、これまで取り組んできた「食の安全性」にこだわった高品質な農産物の生産基盤を強化することに加え、付加価値の高い商品づくり、それらの販売促進に取り組むことで、地域全体をブランド化し、生産、加工、販売という一連の流れを骨太にすることを目標としている。

しかし、現状においては良質な素材（農産物）は豊富だが、それらの魅力を引き出し、売れる商品に仕上げていくための加工技術、販売体制が脆弱で、関連産業における雇用環境の改善には至っていない。このため、基幹産業である農業を機軸として、関連産業への裾野の広い波及効果を獲得するために、地域の生産物の付加価値を高めた特産品の開発やその販路拡大をコーディネートできる人材の育成を図り、食関連産業における雇用創出を目指す。

### (2)独自の技術を活かした付加価値の高いものづくりの推進を通じた雇用創出

本町は、町域の西南部に浜田自動車道瑞穂インターを有し、広島市内から1時間圏内の移動距離に位置することから、山陰・山陽の結節点としての役割を担っている。このような交通アクセスの優位性や、豊富な水資源、安価な地代を背景に、昭和50年代以降、町内への製造業の進出が相次ぎ、農業とともに製造業が地域の経済・雇用を支える重要な産業として位置付けられている。

製造業を取巻く外部環境が厳しさを増す中、町内には発光ダイオード（LED）の製造・販売を行う事業所が存在し、拡大を続ける LED 市場への対応として、半導体チップをカプセル状のレンズで覆うことで集光効率を高めた「砲丸型」のハイパワーLED の開発に成功し、照明器具や自動車のブレーキランプなど既存 LED 市場への参入が期待されている。また、LED の光を特定の食品に照射することで、食品の機能性が高まるとの研究結果があり、地元食品関連業界と連携した新たな事業展開が模索されている。

今後は、これら町内で生まれた独自技術を活かした「ものづくり」の芽を大きく育て、製造業の再生と雇用環境の改善を実現することが目標であるが、ここにおいては新たな商品や新事業展開を企画できる技術やマンパワーの不足が課題となっており、当該事業分野の革新を牽引できる中核的人材の育成が急務となっている。

### (3) ものづくりの担い手の確保と働く場の創出

本町では町域の 8 割を占める農山村地域において過疎化、少子・高齢化の影響により、集落機能の維持が困難になる地域が見られ、また、若者の都市部への人口流出などにより、地場産業を支える人材の確保が難しくなるなどの状況が見られている。

地域再生においては、地域の暮らしや産業を支える定住人口の維持・拡大が最大の課題であり、本町では、定住人口の維持・拡大に向けた定住促進施策として地域内での働く場の確保に向けた企業誘致と UIJ ターン者の掘り起こしに重点的に取り組んでいる。

企業誘致活動の成果として、町内工業団地への鋳物砂製造企業の誘致が決定し、平成 22 年の操業開始により相当数の雇用需要が見込まれている。しかしながら、誘致企業で発生する雇用需要は、鋳物砂製造業という地域になじみの薄い職種であり、誘致企業が必要とする即戦力となる人材が地域に不足している。そのため、これらの人材の養成に取り組むことで、地域若年者の就職・定住を実現していく。

他方、都会の若年者を対象とした 1 年間の農業研修制度や、役場内への無料職業紹介所の設置、インターネットを通じた定住情報の発信などの取組みにより、これまでに 21 名の若年者の定住と 6 名の新規就農者の確保という成果を得ている。しかしながら、職業や住宅に関する相談窓口機能が脆弱で、定住希望者のニーズに充分に対応できず、町外への転出を余儀なくされるケースが多々ある。このため、職住に関する一体的な相談機能を充実することで、UIJ ターン者の受入を確実に進めて行く。

### (4) 定量的な目標数値

本地域再生計画の実施により、新規就業者数を平成 22 年度までに 121 名創出する。

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

邑南町内経済団体等からなる協議会を中心とし、地域雇用創造推進事業を活用することで、地域再生計画の目標の達成に向けて、安全・高品質な農産物を活かした食関連産業の振興や先端技術を活かした付加価値の高い産業の振興などを推進する。このような取り組みにより、邑南町の産業再生に繋げ、地域の活性化を実現していく。

### 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし。

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生の支援措置を適用して行う事業

- ・ 支援措置の名称と番号

地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）：B0902

- ・ 実施主体

邑南町雇用創造推進協議会

#### (1) 付加価値の高い食品開発を担う人材育成事業

町内の食品加工業者・農産品加工業者を対象として、農業生産活動により生まれた素材の魅力を最大限に引き出し、付加価値の高い製品づくりを指導・コーディネートできるフードコーディネーター、料理研究家（特に郷土料理研究家）などを講師とするマーケティング理論講座、レシピ開発講座、ワークショップ形式での販売戦略プラン作成演習、個別プラン作成演習等を実施する。

併せて、食のマーケティングに精通し、商品の価格戦略、パッケージ技術、ネーミング手法などを指導できる専門家を招聘した技術研修を実施するとともに、新商品開発などを予定する企業に対する、個別相談・指導を行う。

これらの研修を通じて、地域で生産される石見和牛、石見ポーク、有機野菜、ハーブなどの安全で高品質な食材を活用した付加価値の高いものづくりの推進を担う中核的人材を育成し、食品製造業における事業拡大及び雇用増加を図る。

#### (2) 高輝度LEDを活用した新商品開発・販路開拓を担う人材育成事業

町内には、独自の技術により開発した「高輝度砲丸形LED」を用いた次世代照明器具の開発に取り組む事業者があり、近年、韓国、中国等の海外企業からの引き合いを受けるなど、照明分野での今後の事業拡大が期待されている。また、同社では、昨年

国内 14 例目の世界遺産に登録された「石見銀山遺跡」に関連する「石見銀山のサザエ灯」を開発するなど、高輝度LEDを用いたオリジナル商品の開発と販売に取り組み、イルミネーション関連商品の充実を今後の事業展開における柱と位置付けている。現在、組立て式のLEDブロック玩具や、ガラス工芸デザイナーとタイアップした新商品開発が模索されている。

これらの優れた技術を活かし、同産業分野における事業拡大と雇用機会の拡大を図るため、LEDを活かしたイルミネーション分野における新商品開発を指導できる専門家を招聘し、新商品開発における着想のノウハウやマーケティング戦略などを学ぶ研修を実施し、商品開発や販路開拓の中核を担う人材を育成する。

### **(3) ネット販売の販路拡大を担う中核的人材の育成事業**

主に町内食品関連企業を対象として、インターネットを活用した情報発信や商品販売を指導できる専門家を招聘し、年間を通じたマーケティングの意義と実践講座を実施する。

ネットショッピングの動向、成功事例、生鮮食品市場における活用方法などの基礎講座から、WEBサイト制作ソフト、画像加工ソフトを用いた実践的な学習プログラム、インターネットによる情報発信スキルアップ講座などにより、高度なマーケティングを理解し、インターネットを活用した販路拡大、企業のブランディングを担える人材の育成を図る。

### **(4) 食料品製造業を支える担い手育成事業**

求職者を対象として、食品製造や安全衛生管理を指導できる専門家を講師とする食品加工に関する基礎知識、衛生管理に関する知識及び技術を学習する基礎講座を実施する。また、首都圏の大手スーパー等のバイヤーやスーパーバイザーなどを招聘して、顧客への応対やトラブル処理、食品仕入れなどのノウハウを学習する実践講座を行い、求職者能力開発を支援する。

また、町が独自に実施する「香木の森研修制度」で培ったハーブ栽培、ハーブクラフト加工技術を活用し、さらに機能性食品としての注目が集まる様々なハーブを活用した商品化を指導できる専門家（ハーブコーディネーター等）を招聘した研修を通じて、ハーブを活かした新たな事業を企画・実現していく人材・起業家を育成する。

### **(5) 電子・デバイス、鋳物製造業を支える技術者育成事業**

求職者を対象として、製造業の一般知識、企画・設計・開発プロセス、生産管理や販売管理の手法等、製造業の業務知識を体系的に学ぶ基礎講座を実施する。

加えて、新規操業が予定される鋳物材料製造業、あるいは今後の事業拡大が見込ま

れる電子・デバイス製造業での即戦力となる技術者を育成することを目的に、鋳物砂に関する一般知識、土質工学・材料工学等を学ぶ研修や、LEDに関する基礎知識、電気精密機器の生産ライン管理手法等を学ぶ研修を職場体験学習と組み合わせて実施する。このことから、地域求職者等の就職機会を増大させる。

#### (6) 無料職業紹介所を活かしたUIJターン促進事業

邑南町役場内に設置した無料職業紹介所の機能を活かし、インターネットを通じたオンラインでの情報発信体制を構築し、外部の当町出身者会等に対し、協議会で実施する各種事業や、定年退職後の定住誘致情報、町内の雇用に関連する情報発信を行う。さらに、町内の空き屋情報を整理し、居住から仕事までを一体的に紹介ができるよう体制を整備する。

また、平成20年4月に隣接する浜田市に開所した「島根あさひ社会復帰促進センター」を活用した雇用情報の発信や就職相談会も開催し、これらを通じて、求職者・UIJターン希望者と雇用需要のマッチングを支援し、地元就職を促進する。

### 5-3-2 邑南町等が独自に実施する産業振興施策

#### (1) 邑南町研修制度（香木の森園芸福祉研修）

町内の観光拠点であるハーブや香りにこだわった「香木の森公園（平成3年完成）」を活動拠点として、都会からの若年者を受け入れ、ハーブ栽培やハーブクラフトに関する1年間の研修を行う「香木の森研修制度」を実施している。平成12年からは、農家で働きながら農業知識や技術・経営ノウハウを学ぶ「農業研修」を実施している。これまでに97名の研修生を受け入れ、このうち21人の若年者が町内に定住し、5人の新規就農という成果を得ている。

#### (2) 邑南町田舎ツーリズム推進事業

都市住民との交流を通じた地域コミュニティの活性化を目的とする田舎ツーリズム（グリーンツーリズム）の推進に向けて、田舎ツーリズム研究会、実践者を対象とした勉強会、先進地域への視察研修、おもてなし技術の向上に向けた料理研究会などを開催し、来訪者の受け入れに向けた体制整備に取り組んでいる。

#### (3) 邑南町ファンクラブ推進事業

広島県民を会員対象として、本町の“ファン”を募り、登録する「邑南町ファンクラブ」を平成18年4月に発足し、会員に対し季刊情報の送付を通じた特産品や観光情報の提供を行い、本町に対する関心の向上、来訪を促す活動を行っている。

会員数は1,200名（平成19年2月末現在）。

#### (4) 観光情報発信システム等整備事業

観光情報の発信、特産品販売を目的とするホームページ（みずほスタイル：2005しまねIT大賞奨励賞受賞）を開設し、維持・管理を行っている。インターネットによる特産

品販売では、民間宅配業者と提携し、カード決済が可能なシステムを構築し、運用している。また、顧客データ管理システムを構築し、メルマガの配信による特産品や観光に関する情報の提供を行っている。2005年の開設以降、売上は順調に推移し、平成19年度においては、年間売上額が10,000千円を突破する見込みである。

#### (5) 定住情報発信事業

Webサイト『住モーウOh!nan』を開設し町外への転出者等に対する各種定住情報の発信を行っている。また、U・Iターン者の受け入れ先として、町内空き地等の情報に関するデータベースの作成に向けて調査を行っている。

#### (6) 邑南町進出企業会の設置運営事業

誘致企業8社と町により構成される「邑南町進出企業会」を発足し、進出企業同士の情報交換を促進するとともに、社員の福利厚生に関する研修・指導等を行っている。また、同会を通じて産業振興、雇用環境の改善に向けた民間企業の意向把握を行い、施策への反映にも努めている。

#### (7) 地元農産物の販売促進事業

町内を縦断する国道沿いに位置する「道の駅瑞穂」の隣接地に農産物の直売所を建設し、指定管理施設として管理運営を委託している。

#### (8) 無料職業紹介所の設置運営事業

町内企業の求人者と求職者のマッチングを支援することを目的に、役場内に専用の窓口を設置、就労相談員を配置し、ハローワーク川本と連携しつつ地元企業と求職者の就職支援を実施している。

## 6 計画期間

平成20年度～平成22年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画終了後に「邑南町雇用創造推進協議会」による達成状況の評価を行う。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし。